

平成27年度第1回刈谷市総合教育会議 議事録

1 日 時

平成27年5月28日（木）午後1時～午後1時55分

2 場 所

刈谷市役所 701会議室

3 議 題

(1) 刈谷市総合教育会議について

(2) 刈谷市総合教育会議の運営に関する要領（案）について

(3) 教育大綱について

(4) 意見交換

4 出 席 者

市 長	竹中 良則
教育委員会 委 員 長	畠 留美
教育委員会 委員長職務代理者	池田 裕幸
教育委員会 委 員	神谷 修
教育委員会 委 員	日下 ゆかり
教育委員会 委員（教育長）	太田 武司

5 欠 席 者

なし

6 会議構成員以外の出席者及び事務局

副 市 長	川口 孝嗣
副 市 長	鈴木 直樹
企 画 財 政 部 長	稲垣 武
教 育 部 長	間瀬 一芳
経営企画監兼企画政策課長	西村 日出幸
教 育 総 務 課 長	村口 文希
企画政策課 課長補佐兼政策推進係長	高野 洋
企画政策課 経 営 管 理 係 長	山口 繁
教育総務課 総 務 係 長	神谷 友理
企画政策課 主 事 （ 書 記 ）	竹内 志穂

7 傍 聴 人

なし

(企画財政部長)

只今から第1回刈谷市総合教育会議を開会させていただきます。会議に先立ちまして、竹中市長よりごあいさつを申し上げます。

(市長)

本日は大変ご多忙の中、第1回の総合教育会議にお集まりをいただき、誠にありがとうございます。

ご承知のとおり、この度の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地方公共団体に、首長と教育委員会が協議・調整する場として総合教育会議を置くこととされました。教育大綱の策定や教育に関する事項に首長が直接関わることのできる、このような場が設けられましたことを、私も大変意味深いものであると感じております。そうはいうものの、教育委員の皆様方とは、これまでも様々な場面で顔を合わせさせていただいておりますし、刈谷市の行政全般にご協力いただいているところであります。しかし、ここで改めて、皆様方と刈谷の教育について忌憚なく意見交換ができるということは、私自身大変楽しみに思っております。

これを機に、皆様から貴重なご意見をいただきながら、ますます刈谷の教育や子育てなどが充実し、子ども達が元気に夢をもって育っていける、また、住みたい、住みやすい、刈谷の地で頑張っていきたいと思ってもらえるようなまちづくりに努めてまいりたいと思います。私にできることはなんでもやっていきたい、という思いでおります。

最後になりましたが、この総合教育会議が、本市のより良い教育行政運営の礎となりますよう、私も全力をあげて取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げまして、私のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

(企画財政部長)

ありがとうございました。続きまして、教育委員長よりごあいさつをお願いします。

(畠委員長)

市長さんのおっしゃられましたように、本日、第1回刈谷市総合教育会議ということで、新たな地方教育行政の第一歩であると感じております。私達教育委員のできることは、今までと同様に、いえ、今まで以上に教育への思いを明確に持ち、それを発信していくことだと思っております。勉強しながらではありますが、一生懸命努めてまいりますのでどうぞよろしくお願い致します。

(企画財政部長)

ありがとうございました。

本日の出席者につきましては、お手元の名簿と座席表をもって代えさせていただきます。

なお、議題に入る前にお願いがございます。当会議の様子につきましては、市のホームページ

ジ等で情報を公開していく予定であります。つきましては、写真や議事録などを掲載して参りたいと考えておりますので、ご了承ください。

それでは、次第に従いまして議題に入らせていただきますが、これより議事の進行は竹中市長をお願いしたいと思います。

(市長)

それでは、刈谷市総合教育会議設置要綱第4条において「総合教育会議は、市長が召集する」とありますので、私の方で議事を進行させていただきたいと思います。皆様のご協力を得まして、円滑に議事を進行してまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、議題（１）の「刈谷市総合教育会議について」、事務局、説明をお願いします。

(企画政策課長より議題（１）について説明)

(市長)

只今、事務局から説明がありました内容について、ご意見、ご質問はございませんか。

特にないようですので、続きまして、議題（２）「刈谷市総合教育会議の運営に関する要領（案）」について、事務局、説明をお願いします。

(企画政策課長より議題（２）について説明)

(市長)

只今、事務局から説明がありました内容について、ご意見、ご質問はございませんか。

(太田教育長)

第4条（３）に、総合教育会議において協議又は調整の対象としないものとして、「その他政治的中立性の要請が高い事項」とありますが、具体的にこういったものが考えられるのでしょうか。また、議題を決める段階で、そういった内容のものは事務局側で事前に取り除いていたのでしょうか。総合教育会議内で、そこに抵触しないかの判断もする必要があるのでしょうか。

(経営企画監兼企画政策課長)

ある一定の政党や思想に偏ったものなどが想定されるかと思います。また、そういった内容のものは事務局が事前に除いておく予定でございます。

(市長)

この総合教育会議は各自治体で開催されると思いますが、先行して開催している、例えば愛知県や名古屋市などのものを参考にしてこの運営要領（案）は作成されているのでしょうか。

(経営企画監兼企画政策課長)

その通りです。この会議の大枠は法律で定められておりますので、その法定以外の部分をこの運営要領（案）で定めておりますが、そこにつきましては先行している自治体のものと大きな違いはありません。

(神谷委員)

政治的中立性の要請が高い事項のことについて、私はそういった偏った発言をしようというつもりではないのですが、例えばある議題についてそういった偏った意見を述べてしまった場合はどうなるのでしょうか。皆さんからご指摘いただけるということでしょうか。

(経営企画監兼企画政策課長)

発言の内容にもよるかと思いますが、適時判断して対応させていただこうと思います。

(市長)

すぐわない発言などがあつたとしても、その場で周りが指摘していけばよいのではないのでしょうか。やはりいろいろ発言していこうというのがこの会議の目的ですから、それを意識しすぎて萎縮してしまうのはよくないと思います。

(日下委員)

今日はいらっしゃいませんが、傍聴人の方がいる会議というのは、より身が引き締まる思いでありまして、私もすぐわない発言をするつもりはないのですが、最近は誰でも携帯電話を持っている時代ですので、密かに録音をされる方もいるのではと少し気掛かりです。

(企画政策課長)

運営要領（案）の最後に傍聴券の様式が載せてございますが、傍聴券裏面に「撮影及び録音はご遠慮ください。」とあります。事務局としても、その点につきまして、受付時など特に注意を促していきたいと思います。

(市長)

どなたかほかにございますか。それでは、原案どおりとし、今後この要領に基づき会議を運営してまいりたいと思います。

続きまして、議題（３）「教育大綱について」、事務局、説明を願います。

(教育総務課長より議題（３）について説明)

(市長)

つまり、第７次刈谷市総合計画にある教育文化分野の方針に沿って教育大綱を策定すると

いうことでよろしいですね。

(教育総務課長)

その通りです。

(畠委員長)

この大綱について、私は少し狭く捉えていたようで、もっと幅広く考えねばと思いました。というのは、学校教育分野だけではなく、青少年育成、生涯学習、スポーツなどの分野についても含めて策定するということなのですね。

(教育総務課長)

国からの通知によりますと、個別計画があればそれを大綱と読み替えることもできますし、また、個別計画があっても大綱を定めることもできる、つまりどちらでもよいとあります。そのため、当市の場合、個別計画のない学校教育分野だけに特化した大綱とすることもできますし、学校教育分野と青少年育成、生涯学習、スポーツ分野なども含めた全体についての大綱とすることもできるということになります。その上で、今のところ当市としては全体についての大綱にしていく予定であります。

(市長)

資料4の右の枠内をご覧くださいと、1番の学校教育だけ個別計画がなく、2番から6番までは個別計画があります。現段階では、1番のみではなく2番から6番の要素も含めて、1番から6番全体についての新しい方針、つまり教育大綱を策定していくというイメージでよろしいでしょうか。

(教育総務課長)

その通りです。

(神谷委員)

先程、畠委員長が幅広い分野を取り扱うことについておっしゃられまして、そのことに絡めてなのですが、総合教育会議においてはいかがでしょうか。学校教育分野を中心にして、ほかの青少年育成、生涯学習、スポーツなどの分野のことも議論するということがよろしいでしょうか。といいますのも、我々教育委員は小中学校のことを中心にやらせていただいていたという自負があります。そしてもちろん、そのほかの分野も当然関連してくるでしょうし、軽んじている訳でもないのですが、会議のあり方、どの分野をどういった割合で扱っていくのかといった方針はやはりはっきりさせておくべきだと思いましたので。

(市長)

そうですね、基本的な概念の部分ですので非常に大事なことだと思います。事務局、もう

少し具体的に説明願います。

（教育総務課長）

これは一つの捉え方としてお聞きいただければと思います。この総合教育会議の作られた経緯などから考えますと、やはり学校教育分野を中心として、そのほかの青少年育成、生涯学習、スポーツなどの分野も取り扱っていくということになるかと思います。その中で、今年に関しましては、教育大綱を策定するという目的がございます。事務局がある程度の大綱のベースをお示しさせていただくのですが、先程も申し上げましたように、学校教育分野と青少年育成、生涯学習、スポーツ分野なども含めた全体を網羅した大綱とする予定ですので、皆様にはそういった全般の分野についてご意見をいただくこととなります。そして、次年度以降も含めて、総合教育会議全体としましては、やはり学校教育分野のウェイトが大きくなると認識しております。

（市長）

そうですね、もう少しわかりやすいようにウェイト付けしますと、目安は学校教育が5割、そのほかの分野がそれぞれ1割ずつといったようなイメージでしょうか。中心は学校教育分野ですが、ほかの分野も扱うことになります。

（神谷委員）

よくわかりました。はっきりとした統一見解が必要であると思いましたので、確認させていただきました。

（市長）

確かに難しいところもありますが、基本的なイメージは掴んでいただけましたでしょうか。それでは、当会議の概要や教育大綱の策定についての議事はこれまでといたします。続きまして、議題（４）「意見交換」でございます。日頃の教育への思いや当会議へのご助言や感想などを、お一人ずつお話しいただきたいと思います。

（畠委員長）

教育というと、学力向上のことが取りざたされがちでして、それももちろん基本的で大事なことなのですが、それ以上に、子ども達の豊かな心を育む、心の教育も大切であると感じております。各学校を訪問させていただく中で、最近では、子ども達が「自己有用感」や「自己肯定感」を持つことができるよう現場も力を入れられていると感じます。大人でも「自己有用感」や「自己肯定感」を持つというのは難しいことです。子ども達が自分のことが好きで、自分を肯定的に捉えられるようになるためには、やはり人から必要とされている、見守られていると感じられること、そういった環境を整えてあげることが大切です。今までと同様、またそれ以上に、そういった心を育む教育に取り組んでいただきたいと思います。

(池田委員)

一人の親として、地元のPTA役員として、そして、この教育委員として1年半、刈谷の子ども達の教育に携わってきました。そんな中で私が強く思うことは、子ども達は多くの可能性を秘めている、すばらしい存在である、ということです。そういった子ども達の教育に関わることができることは大変喜ばしいことです。私のモットーは「人は一生成長する」でして、子ども達と共に自分も一緒に成長していきたいと思います。

このように新たな機会を設けていただき、参画できることを光栄に思います。刈谷の明るい未来のために、微力ではありますが、精一杯取り組んでいきたいと思います。よろしくお願いします。

(神谷委員)

私はこのメンバーの中でも一番長く9年も教育委員をやらせていただいております、このような教育現場に携わることができて大変光栄です。教育委員の一人として微力ながら頑張っまいると思いますのでよろしくお願いします。

現在の刈谷市の教育委員会ですが、太田教育長を中心に、良いことも悪いことも、包み隠さず速やかに報告していただけており、安堵しているところであります。と言いますのも、今回の制度改革は教育委員会の諸問題に端を発したものでありますが、少なくとも刈谷市の教育委員会は全員同じ方向を向いていると思っています。

少し気になりますのが、例えば競走などで、なんでも横並び方式といって優劣をつけずにおくのは、やる気の阻害につながり、勝つ喜びや負けるくやしさを知る機会を奪っているのではないかと感じます。人間誰しも得手不得手はあるということも知らねばなりません。ほかにも、頑張った友達を称え、思いやる気持ちなどもとても大切です。確かに差別はよくないですが、メリハリをつけ必要な区別はしてもよいのではないかと、この頃特に思うところがあります。

最後に、体験学習をもっと重視していただきたいということです。例えば中学校の職場体験の日数は5日から3日に減りましたし、小堤西池のカキツバタの管理ボランティアなどもとても大変なはずで子ども達にも良い体験になると思うのですが、やる前から危ないから駄目、やらせないということがもし教育現場にあるとするならば少し残念に思います。どうかそういった点についてもご考慮いただけたらと思います。

(日下委員)

私は、教育委員2期目の2年目なのですが、委員の依頼をいただいた時、「母」としての立場からの意見も必要だとお聞きし、それもお受けした理由の一つであります。この数年、教育委員として幼稚園や学校現場を回らせてもらい、先生や子ども達の様子や様々なことを知ることができ大変よかったと思っています。

母親目線で申し上げますと、子ども達が「いってきます」と出ていき、「ただいま」と学校から無事に帰ってくることが親の願いであります。確かに学力の向上は大変大事なことです、やはり子ども達には笑顔で元気にいてほしいというのが強い思いであります。そのため

には、家庭の父親母親も影響すると思いますが、学校の先生が心身共に健康であることも非常に重要ではないでしょうか。現場の先生方はお忙しく大変疲れているように感じる場合があります。一生懸命やって、とにかく長く遅くまで学校にいたいとばかりがよいとは限らないので、校長先生などから「早く帰ろう」とお声掛けいただくといった配慮をお願いできたらと思います。

（太田教育長）

新しい教育委員会制度が始まるということで様々な懸念もされているところではありますが、私としては全く心配しておりません。この総合教育会議も、我々が実のあるものにしていくのだという強い思いであります。この少子化時代、刈谷を背負って立つ子ども達をどうやって育てていくか、何が必要なのかということは、もはや教育分野に限らず市全体の問題であると思います。こういった問題を総合教育会議において市長を交えて話すことができる大変期待をしているところであります。

例えば、学習指導要領に則って学ぶことだけではなく、郷土の歴史を知ることなども非常に大切であると思います。3年程前から、市長が刈谷の歴史教育に力を入れておられまして、私も、最近、松本奎堂（まつもとけいどう）や穴戸弥四郎（ししどやしろう）といった地元の人物について、奈良県東吉野村にゆかりがあることなどまで詳しく知ることができました。やはり郷土の歴史を知ること、より地元を好きになっていくのではないのでしょうか。

そういったことを含めて、総合教育会議で切磋琢磨し様々な議論をしていきたいと思えます。会議のあり方などを心配するのではなく、この会議があるからこそうまくやっていくことができるだろうと期待をしておりますし、また、それがこの会議の主旨であると思っています。

（市長）

委員の皆さんから教育への思いなどたくさんご発言をいただき、ありがとうございました。

私自身、平成10年から3年間、生涯学習部長を務めておりましたため、教育委員会との関わりにも経験がありますので、今回、この総合教育会議というとてもよい場を作ってもらえたと感じています。このような場で意見を出しあい、多様な課題に対応していくということは、まさに刈谷市のまちづくりであると思っています。忌憚のないご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

今後は、この総合教育会議を開催していく中で、子どもと教育委員会が一体となって対話をし、議論を深め、これまで以上に、教育行政の方向性を共有、あるいは協力しながら、子ども達のための様々な施策を推進していくことができるものと期待しております。

最後になりましたが、この会議が有意義な意見交換の場となるように努めてまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

それでは、私からは以上ですが、事務局からもなにか思いがあれば聞かせてもらいたい。

（企画財政部長）

教育に関する会議に参加するのは初めてですので、いろいろ参考にさせていただきたいと思います。

(市長)

それでは、全体を通して、ご質問等ございましたら、お願いします。

(神谷委員)

この会議のあり方や方向性はどういうものですか。着地点はあるのか、なにか結論付けないといけないものなのか、それとも、様々な議論をしていくものなのか、教えていただきたい。

(企画財政部長)

今年度につきましては、教育大綱を策定することが主となります。ただ、臨時でなにかあった場合は開催させていただくこともございます。

先々には、大綱の進行管理や見直しについての議論も必要になってくるかと思います。

(市長)

教育大綱の期間はどれくらいですか。また、策定スケジュールを具体的に教えてください。

(教育総務課長)

一般的に、首長の任期が4年ですので、教育大綱も4～5年を目処に見直しを行います。

今年度の大綱策定のスケジュールですが、第2回会議にて骨子をお示ししますので、そこでいただいた意見をもとに第3回にて8～9割完成した素案をお示しし、更にいただいた意見をもとに第4回で最終確定をさせていただく予定でございます。

(市長)

わかりました。どなたかほかにございませんか。

(鈴木副市長)

皆様が短い時間の意見交換の中でも様々な視点から語られていて、大変興味深く感じるとともに、皆様の教育に対するそれぞれの思いが伝わってきました。

(市長)

それでは、以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。

次回は9月29日の開催を予定しておりますので、お忙しい中恐れ入りますが、よろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。